

各 位

全国地域生活定着支援センター関東甲信越ブロック
ブロック長 後藤 真純
(栃木県地域生活定着支援センター長)
(公印略)

令和7年度 全国地域生活定着支援センター関東・甲信越ブロック
研修会 開催のご案内

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素から格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、令和7年度 全国地域生活定着支援センター関東・甲信越ブロック研修会を下記のとおり開催することとなりました。ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴所職員のご出席を賜りますようご案内申し上げます。
なお、お手数ですが、参加について別紙「開催チラシ」申し込み案内より令和8年1月23日(金)までに申し込みいただきますようお願い致します。

記

- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 第1日目：令和8年2月17日(火)13:30～17:30
第2日目：令和8年2月18日(水)9:00～11:30 |
| 2 場 所 | ウエスタ川越（埼玉県川越市） |
| 3 内 容 | テーマ「刑事司法の新動向から福祉を見つめ直す」
基調講演、厚生労働省、地域生活定着支援センター等からの報告
詳細は別紙チラシをご参照ください。 |
| 4 参加対象者 | 福祉関係者・保健関係者・司法関係者・行政関係者
その他、教育、労働、住宅など関心のある方 |
| 5 参加費 | 無料 |

<お問合せ>

埼玉県地域生活定着支援センター
担当 西木戸・浜崎
Tel 049-246-5321
Fax 049-293-4751
mail saitama.teichaku.sinai@gmail.com

刑事司法の新動向から福祉を見つめ直す

～わたしたちの隣人が暮らしていくために～

地域生活定着支援センターでは、高齢または障害により福祉的な支援を必要とする刑務所出所者の支援を行っているとともに、刑事司法の入り口段階における被疑者等の支援も行っています。そして、支援にあたっては、福祉関係者をはじめとする様々な関係機関の方と連携をさせて頂き、そのご協力により、多くの方が穏やかに地域で暮らせるようになってきています。

そのような中、懲役刑から拘禁刑に変わるという刑事司法の大きな変化があり、刑事司法と福祉との関りがますます緊密なものになろうとしています。また、被疑者等支援業務も開始から4年経過し、少しずつ業務経験が積み重なり、福祉との関りが不可欠であるということも明らかになっています。

そこで、今回の研修では、刑事司法の大きな変化と被疑者等支援業務を通じて、刑事司法と福祉との連携はどうなっていくか、また、福祉側は何ができるのかを考えていけたらと思います。そして、罪を犯したとしても、福祉の支援が必要な「人」であり、地域で暮らしている「お隣さん」を、皆さんと一緒に考えていければと思います。

第1日目

定員 200名

令和8年2月17日(火) 13:30～17:30

ウェスタ川越1階 多目的ホールC・D

「拘禁刑がもたらす福祉的支援への影響」

掛川直之 立教大学 准教授 基調講演
府中刑務所 現状報告 他

2/17 18:30～

懇親会 立食パーティー

参加費 ¥6,000-

第2日目

定員 100名

令和8年2月18日(水) 9:00～11:30

ウェスタ川越2階 活動室1・2

被疑者等支援業務 事例報告等

会場

ウェスタ川越

埼玉県川越市新宿町1-17-17

JR・東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分

※本会場には駐車場がありますが、割引はありません
混雑が予想されるため、公共交通機関のご利用にご協力ください

「研修プログラム」・「申込方法」は裏面へ

懇親会会場

ラ・ボア・ラクテ

住所：埼玉県川越市

脇田本町22-5

脇田本町公園

東口

川越駅

西口

U PLACE

ウェスタ川越



1 日目研修プログラム

13:10 13:30

17:30

受付開始 開会挨拶 ・関東・甲信越ブロック長 ・全国地域生活定着支援センター協議会会長 ・埼玉県福祉部社会福祉課 行政報告 ・厚生労働省社会援護局 ・法務省保護局 ・法務省矯正局 基調講演 ・立教大学 掛川直之氏 「拘禁刑がもたらす福祉的支援への影響」	休憩 府中刑務所 現状報告 ・府中刑務所 職員 「拘禁刑における府中刑務所の取り組み」 トークセッション 質疑応答 ・立教大学 掛川直之氏 ・府中刑務所 職員 「矯正施設出所者の福祉的支援に望むこと」 閉会挨拶
---	--

2 日目研修プログラム

8:45 9:00

11:30

受付開始 被疑者等支援業務 事例報告等 ・東京都・長野県地域生活定着支援センター ～広域調整が必要となった事例～ ・山梨県地域生活定着支援センター ～救護施設が関わる事例～ ・埼玉県地域生活定着支援センター ～自立準備ホームが関わる事例～ 閉会挨拶

講師紹介

掛川直之 先生

立教大学コミュニティ福祉学部 福祉学科准教授
平成30年大阪市立大学大学院 創造都市研究科
博士課程修了 博士
大阪市立大学都市研究プラザ 特別研究員
日本学術振興会 特別研究員
立命館大学 衣笠総合研究機構専門研究員
東京都立大学 人文社会学部 助教等を経て現職



申込方法

右記QRコードまたはURLから、申込フォームでお申込みください。
定員に達した場合、申込を早めに締め切らせていただく事があります。
お申込み後、確認メールを送付させていただきます。メールが届かない
場合やキャンセルをご希望の場合は、お手数ですが、下記「お問い合わせ
先」までご連絡ください。なお、1日のみの参加も可能です。どなた
でも参加可能ですので、多くの方々のご参加をお待ちしています。

申込締切日

令和8年1月23日



<https://forms.gle/45Amj1DcVxjv38ke7>

地域生活定着支援センターについて

刑務所や少年院等の入所者、被疑者・被告人等の中には、障害や
高齢などの理由により、福祉的支援を必要とする方がいます。その
ような人々が直ちに福祉サービスにつながるように、各都道府県に
設置されている地域生活定着支援センターが、保護観察所、検察庁、
行政機関、福祉関係者、医療機関、弁護士、保護司等と連携して、
社会復帰や地域社会への定着を支援します。

詳しくは、下記、全国地域生活定着支援センター協議会ホームペ
ージをご覧ください。

お問い合わせ先

埼玉県地域生活定着支援センター
西木戸 浜崎

TEL : 049-246-5321

FAX : 049-293-4571

〒350-1150

埼玉県川越市中台南2丁目17-15

saitama.teichaku.sinai@gmail.com

<令和7年度厚生労働省社会福祉推進事業>
一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会
<https://zenteikyo-jimu.jimdofree.com/>